

# 平成 19 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会報告

研修担当代表 涌井義一

標記の特別講演会は下記のようなプログラムにより、42名の参加者を集めて開催された。はじめに機械理工学専攻 村松直樹教授により「大学における研究開発の在り方ー考察」(小型グリッパーの製品化開発)についての講演がなされ、次いでマテリアル理工学専攻 平澤政廣教授による「地球環境問題について」の講演がなされた。講演概要に記すように、いずれも今日的に関心の深い内容であり、参加者の多くが問題意識を持ち、真剣に聴講する姿が印象的であった。講演後には活発な質疑応答がなされ、大いに有意義な講演会となった。

## 村松直樹教授 講演概要

人間工学に基づく生活支援のために研究開発を行っているが生活の快適さと省資源・省エネルギーは相反する関係にある。これを解決するのが技術であり、実用化、すなわち製品対応の研究開発を目指している。身体で最大の仕事手段である手を対象に把持技術について検討している。その技術開発例として座屈現象を利用したフレキシブルフィンガー：小型グリッパーの製品化開発を紹介する。さらにはそれを拡張させ、種々の製品開発に応用展開している。このような一連の技術開発を通して大学におけるモノづくり開発の在り方を考察する。

## 平澤政廣教授 講演概要

人類の将来にとって大きな脅威となる地球的規模あるいは地球的視野にたった環境問題が挙げられる。特に、国際条約などで規定されている問題として、地球の温暖化・オゾン層の破壊・熱帯林の減少・開発途上国の公害・酸性雨・砂漠化・野生生物種の減少・海洋汚染・有害廃棄物の越境移動などがあり、地球規模のため、対策が困難な面がある。このような憂慮すべき状況の中で、今こそ人類が英知を集結し、地球の未来のために環境保全と持続可能な人間活動の両立を如何に図るべきか真剣に熟慮し、行動に移さなければならない。その具体的な取り組みの例を検証する。

## 平成 19 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会プログラム

- 1) 日 時 : 10月12日(金) 13時10分~16時10分
- 2) 会 場 : VBL3階ベンチャーホール
- 3) タイムスケジュール:
  - 13:10 受付
  - 13:30 開会の挨拶  
副研究科長 鈴置保雄教授
  - 13:50 「大学における研究開発の在り方ー考察」(小型グリッパーの製品化開発)  
機械理工学専攻 村松直樹教授
  - 14:50 【休憩】
  - 15:00 「地球環境問題について」  
マテリアル理工学専攻 平澤政廣教授
  - 16:00 閉会の挨拶  
統括技術長 林達也